

都市計画道路田辺旭ヶ丘線事業  
の再評価について  
(意見具申)

平成29年5月30日

都市計画道路田辺旭ヶ丘線  
再評価委員会

平成29年5月30日

柏原市長 富宅 正浩 様

都市計画道路田辺旭ヶ丘線再評価委員会  
委員長 後藤 孝夫

都市計画道路田辺旭ヶ丘線再評価について（意見具申）

標記の件について再評価を行った結果、下記のとおり意見具申する。

記

都市計画道路田辺旭ヶ丘線は、現計画どおり「高架式」とし、今なお続く近鉄河内国分駅周辺における慢性的渋滞を緩和し、社会活動における時間と資源の節減に寄与するのみならず、地域活性化にも資することが明らかであるため、継続して行い、可能な限り工事費のコスト縮減に努め、早い時期に整備完成されることが望ましい。

事業の進捗状況の観点からも、用地取得率が約93%であり、既投資額も全体事業費の半分以上となっていることから、投資効果を早急に発現させるためにも、1日も早い完成が望まれる。

事業継続にあたっては、歩行者・自転車の交通安全に配慮し、歩道部のバリアフリー化・路面のカラー化等の検討も視野に入れたバイパス道路計画の事業推進を行い、段階的に効果が発現できるよう、生活道路としての側面も重視し、快適な生活空間の創出、及び景観デザインにも配慮した道路整備となるよう努められたい。あわせて地域住民の暮らしに根付くよう工夫されたい。

また、騒音や大気汚染などによる沿道地域への環境負荷をできるだけ軽減することや、周辺の環境対策についても十分配慮されたい。

以上

委員長

後藤 孝夫

委員

柳原 京男

委員

田中 晃代

委員

井上 顕史